

## 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

本研修 PG では、上越総合病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに施設群を構成しています。

施設群は新潟県上越二次医療圏(中核都市である上越市、ならびに僻地である妙高市、十日町市の一部が含まれます)の代表的な施設を包括し、さらに隣接する糸魚川二次医療圏、魚沼二次医療圏の施設を含んでおり、いわば「オール上越」による体制を実現しています。加えて北陸広域で総合診療専門医の育成を目指している「北陸総合診療コンソーシアム」を構成する施設群と連携することで、地方におけるより発展的な地域医療のあり方を学ぶとともに、異なる特性を有する地域における研修を通じてより普遍的で質の高い総合診療専門医を養成する機会も確保しています。

専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。ローテート研修にあたっては下記の構成となります。

(1) 総合診療専門研修は診療所・中小病院における総合診療専門研修Ⅰと病院総合診療部門における総合診療専門研修Ⅱで構成されます。当 PG では以下の病院を総合診療専門研修Ⅱの研修の場としています。総合診療専門研修Ⅱの研修期間は6ヶ月間とします。主に基幹施設である上越総合病院で研修を行いますが、多様な場における経験を積むことを希望する目的で、以下の連携施設のいずれかにおいて6ヶ月程度の研修を行うことも可能です。

- ・糸魚川総合病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
- ・「北陸総合診療コンソーシアム」を構成する以下の施設
  - 公立穴水総合病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
  - 公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
  - 市立敦賀病院
  - 珠洲市総合病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
  - 公立能登総合病院
  - 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
  - 町立宝達志水病院
  - 公立羽咋病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
  - 津幡町国民健康保険直営河北中央病院
  - 独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
  - 国民健康保険能美市立病院
  - 医療法人社団和楽仁芳珠記念病院
  - 加賀市医療センター
  - 富山医療生協協同組合富山協立病院
  - 福井県医療生活協同組合光陽生協病院

また、当 PG では以下の連携施設のいずれかにおいて総合診療専門研修Ⅰを6ヶ月間以上研修します。

- ・新潟県立松代病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
- ・新潟県立柿崎病院
- ・新潟県立妙高病院(僻地に立地する医療機関として推奨)
- ・湯沢町保健医療センター
- ・上越地域医療センター病院
- ・新潟県厚生連けいなん総合病院
- ・揚石医院
- ・清華ファミリークリニック

- ・「北陸総合診療コンソーシアム」を構成する以下の施設
  - 公立穴水総合病院（兜診療所）（僻地に立地する医療機関として推奨）
  - 社会医療法人財団董仙会恵寿ローレルクリニック
  - 市立輪島病院（僻地に立地する医療機関として推奨）
  - 公立宇出津総合病院（僻地に立地する医療機関として推奨）
  - 公立つるぎ病院
  - 金沢医療生活協同組合けんろく診療所
  - 紺谷内科婦人科クリニック
  - 公益社団法人石川勤労者医療協会寺井病院
  - 富山医療生協協同組合水橋診療所
  - 福井県医療生活協同組合光陽生協クリニック
  - 福井県医療生活協同組合つるが生協診療所

総合診療専門研修Ⅰの研修施設については、専攻医の意向を踏まえて決定します。継続的な医療・ケアの経験をする立場から、同一施設で継続して6ヶ月の研修を行うことを推奨しますが、多様な場における経験を積むことを希望する場合は、3ヶ月ずつ、2か所の施設で研修することも可能です。

以上のように、総合診療専門研修Ⅰ、総合診療専門研修Ⅱを合わせて18ヶ月の研修を行うこととなります。

- (2) 必修領域別研修として、上越総合病院で内科 12ヶ月、小児科 3ヶ月、救急科 3ヶ月の研修を行います。小児科については、けいなん総合病院で行うことも可能です。12ヶ月間の内科研修においては、専攻医の希望により、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎・糖尿病内科、神経内科、の各部門から、ローテーションする診療科を選択することが可能です。
- (3) その他の領域別研修として、上越総合病院で整形外科・外科・産婦人科・放射線科・眼科・皮膚科・泌尿器科の研修を行うことが可能です。また、三交病院で精神科の研修を行うことが可能です。また、新潟大学大学院医歯学総合研究科総合診療部や北陸総合診療コンソーシアムの金沢大学付属病院総合診療部で総合診療研究活動（疫学研究など）の研修を行うことが可能です。
- (4) 3年間(36ヶ月)の研修期間のうち、総合診療専門研修Ⅰ、総合診療専門研修Ⅱ、上記(2)の必修領域別研修を除いた6ヶ月間は、選択研修期間とします。選択研修期間は、上記(3)の領域別研修、または総合診療専門研修Ⅰ、あるいは総合診療専門研修Ⅱに充てます。具体的な研修内容や期間については、専攻医の意向をふまえて決定します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医を中心に考え、個々の総合診療専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、本研修PG管理委員会が決定します。

## 専門研修プログラムの施設群について

本研修PGは基幹施設1、連携施設47の合計48施設の施設群で構成されます。

このうち基幹施設である上越総合病院と11の関連施設は、僻地を含む新潟県上越二次医療圏（上越地域、妙高地域、松代・松之山・大島地域）、ならびに近隣の新潟県糸魚川二次医療圏、魚沼二次医療圏、および新潟市に位置しています。残りの36の連携施設は、後述の北陸総合診療コンソーシアムに参加しており、富山県、石川県、福井県内に位置しています。



## 専門研修基幹施設

JA新潟厚生連上越総合病院総合診療科が専門研修基幹施設となります。上越総合病院は新潟県厚生連を経営母体とし、医療を通じて上越地域の発展に貢献することを病院の理念に掲げている上越二次医療圏の急性期基幹病院です。訪問看護ステーションや介護老人保健施設を併設して地域医療にも力を入れているほか、教育を重視し卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定施設となっています。総合診療科では、幅広く初診を扱う外来診療、包括的な病棟診療、救急科と連携した ER 初期診療等を提供しています。基幹施設として日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修 ver 2.0 後期研修プログラムで専攻医を教育している実績があります。

## 専門研修連携施設

本研修 PG の施設群を構成する専門研修連携施設は以下の通りです。すべて、診療実績基準と所定の施設基準を満たしています。

- ・ JA 新潟厚生連糸魚川総合病院(糸魚川二次医療圏の急性期病院です。総合診療専門研修指導医が常勤しています。新潟県厚生連を経営母体とし、地域医療に力を入れています。)
- ・ JA 新潟厚生連けいなん総合病院(上越二次医療圏妙高地区の急性期・慢性期医療を提供する病院です。総合診療専門研修指導医が常勤しています。地域に根差した小児科診療にも定評があります。)
- ・ 新潟県立柿崎病院(上越二次医療圏頸北地区の急性期・慢性期医療を提供する県立病院です。総合診療専門研修指導医が常勤しています。過疎地の地域医療を実践しており、在宅医療を行っています。)
- ・ 新潟県立妙高病院(上越二次医療圏妙高地区の急性期・慢性期医療を提供する県立病院です。総合診療専門研修指導医が常勤しています。過疎地の地域医療を実践しており、在宅医療を行っています。)
- ・ 新潟県立松代病院(上越二次医療圏松代・松之山・大島地区の急性期・慢性期医療を提供する県立病院。総合診療専門研修指導医が常勤しています。過疎地の地域医療を実践し、在宅医療を行っています。)
- ・ 上越地域医療センター病院(上越二次医療圏旧上越地区の慢性期病院です。総合診療専門研修指導医が常勤しています。回復期リハビリテーションや、在宅支援の症例が豊富です。)
- ・ 三交病院(上越二次医療圏の精神科病院です。精神科指導医が常勤しています。)
- ・ 清華ファミリークリニック(上越二次医療圏旧上越地区の個人クリニックです。総合診療専門研修指導医が常勤しています。家庭医療の実践に定評があります。在宅医療の症例が豊富です。)
- ・ 揚石医院(上越二次医療圏妙高地区の個人クリニックです。総合診療専門研修指導医が常勤しています。施設長は上越医師会介護保健部の理事で、訪問看護ステーションを有し、在宅医療の症例が豊富です。)
- ・ 湯沢町保健医療センター(新潟県魚沼二次医療圏の公益社団法人が運営するコミュニティーホスピタルです。地域のかかりつけ病院として、地域の健康と安心を守ることを理念とします。総合診療専門研修指導医が常勤しています。地域医療に従事する医療人育成のための独自の初期研修・後期研修・再研修プログラムを有し、研修医や専攻医の教育に関する実績が豊富です。)
- ・ 新潟大学医歯学総合病院(新潟市にある国立大学病院。総合診療専門研修指導医が常勤しています。総合診療部で疫学研修などの総合診療研究活動を行うことが可能です。)
- ・ 北陸総合診療コンソーシアム(石川県内、一部富山県、福井県、新潟県の病院、診療所が参加し、広域にわたって情報交換や人的交流を行いながら、地方におけるより発展的な総合診療や地域医療のあり方を検討し、そのための人材育成をはかる研修病院群。以下の医療機関が参加しています。

上越総合病院、公立穴水総合病院、社会医療法人財団董仙会恵寿ローレルクリニック、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院、市立敦賀病院、珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院、公立能登総合病院、社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院、町立宝達志水病院、公立羽咋病院、津幡町国民健康保険直営河北中央病院、独立行政法人国立病院機構金沢医療センター、金沢市立病院、公立松任石川中央病院、公立つるぎ病院、独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院、石川県済生会金沢病院、国家公務員共済組合連合会北陸病院、金沢赤十字病院、医療法人社団浅ノ川総合病院、金沢医療生活協同組合けんろく診療所、紺谷内科婦人科クリニック、国民健康保険小松市民病院、国民

健康保険能美市立病院、医療法人社団和楽仁芳珠記念病院、公益社団法人石川勤労者医療協会寺井病院、加賀市医療センター、富山医療生協協同組合富山協立病院、富山医療生協協同組合水橋診療所、福井県医療生活協同組合光陽生協クリニック、福井県医療生活協同組合光陽生協病院、福井県医療生活協同組合つるが生協診療所

### 専門研修施設群とその地理的範囲

基幹施設と連携施設により専門研修施設群を形成します。本研修 PG の専門研修施設群は新潟県のほか、北陸総合診療コンソーシアムを構成する施設群が富山県、石川県、福井県にあります。施設群の中には地域中核病院や地域中小病院、診療所（個人クリニックを含む）、大学病院が入っています。体制は次ページの図1のような形になります。図1-1は本 PG に参加する施設群の全体的なイメージを示します。専門研修施設群に含まれるわけではありませんが、地域全体で専攻医を育てるという視点から、上越市、上越地域振興局健康福祉環境部（上越保健所）、上越医師会、JAえちご上越が研修を支援します。

図1-2は北陸総合診療コンソーシアム参加施設とその地理的範囲を示します。

上越総合病院が位置する新潟県上越市からの所要時間は、以下のとおりです。

- ・新潟市（新潟大学医歯学総合病院）： JRまたは高速道路（高速バス、自動車）でいずれも約2時間
- ・湯沢町（湯沢町保健医療センター）： JRで約1時間半、高速道路（自動車）で約1時間半
- ・金沢市（北陸総合診療コンソーシアム参加病院群の中心地である金沢大学）： JR（新幹線）で約1時間、高速道路（高速バス、自動車）で約2時間半
- ・上越市内、妙高市内（その他の施設）： 鉄道（えちごトキめき鉄道、北越急行）でいずれも1時間以内、自動車ですべて1時間以内

遠方の施設での研修に際しては宿泊施設とその費用を用意しますので、研修に支障はありません。また、北陸総合診療コンソーシアムは新潟県外に広がりますが、時間的には新潟県内の移動と大差はなく、むしろ近距離と言ってもよい施設も含まれ、広域連携を行ううえでの支障はないと考えられます。



図1-1 研修体制。本 PG 参加施設群の全体像



図1-2 研修体制。北陸総合診療コンソーシアム参加病院群を示す。

